

柿本委員（民主県政会）

令和4年3月8日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）ICT教育格差の解消について

県内市町で提供されるICT教育の格差を速やかに解消するため、ハード面以外でどのように取り組んでいくのか、教育長に伺う。

（答）

「学びの変革」の推進に向けて、知識伝達型の授業から、「本質的な問い」を中心とした探究的な授業へと変革していくため、教員が授業力に加えてデジタル機器の活用スキルを身に付けることが必要であると認識しております。

このため、市町教育委員会が実施する教員研修に、県教育委員会の指導主事を派遣し、教員のデジタル機器の活用スキルの向上を図っているところでございますが、こうした研修や学校訪問をする中で、これらのスキルについて、市町や学校間で差が見られる状況を把握しているところでございます。

こうしたことから、令和4年度は、教員のデジタル機器の活用スキルについて、より詳細な実態調査を行うとともに、全ての教員がデジタル機器を十分に活用できるよう、スキルの差に応じた研修を実施してまいります。

県教育委員会といたしましては、児童生徒がデジタル機器を効果的に活用した学びが進められるよう、引き続き、教員のデジタル機器の活用スキルの向上を図ってまいります。